



1991年以来22年ぶりに単年度収支で黒字の見込みが高くなりました

11月14日、「道営記念」を最後に平成25年度のホッカイドウ競馬が終了しました。

道営記念では、スタートで勢いがつかず馬群の最後方から更に5馬身程後ろを追走していたレオニダスが3コーナー手前から進出を開始し、直線では一完歩一完歩力強い豪快な差し切り勝ちを決め、最終日に花を添えました。

今年度のホッカイドウ競馬は4日24日から開催が始まり、途中濃霧などの影響により10競走が中止、また、台風による開催中止が1日あったため、全79日間の開催となりました。

このように競走数、開催日数とも計画を下回る状況となる中インターネットでの発売が好調だったことから140億1,743万400円(計画対比109.86%)の発売金額が達成され、22年ぶりに単年度収支で黒字となる見込みが高くなりました。

また、7回開催したA i b a祭では、多くの方にご来場頂き、誠にありがとうございました。そのご協力の結果、右の表の通り、毎回計画を大きく上回る発売金額を達成することができました。A i b a祭開催日7日間を除いたA i b a静内

での平均発売金額が約108万円だったことから皆さんのご協力とその事業効果の大きさが伺える結果となりました。

ホッカイドウ競馬は、馬産地日高にとって極めて重要な産業の一つです。この産業を更に盛り上げていくために来年も一人でも多くの方にご来場頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

● A i b a 祭馬券発売金額一覧

開催月日	発売金額	計画対比
5月8日	2,316,000円	286.28%
6月5日	2,587,000円	259.74%
7月10日	2,501,400円	309.20%
8月7日	2,682,600円	331.59%
9月10日	2,922,400円	419.28%
10月15日	2,933,400円	420.86%
11月6日	3,231,500円	399.44%
合計	19,174,300円	

全国的に素牛が不足している状況が続いており、11月市場、12月市場ともに購入価格は高値で推移しております。12月市場では、東別地区の上野正恵さんが販売した去勢牛が、今年度販売された素牛の最高価格を更新しました。(※取引市場については、安平町・ホクレン南北海道市場でのもの。)

黒毛和牛素牛市場販売成績

(平成25年11月市場~12月市場)

11月市場 (11月6日開催)

販売頭数 75頭 (去勢 45頭 めす 30頭)
 販売金額 36,824,550円 (去勢 20,555,850円 めす 16,268,700円)
 平均価格 490,994円 (去勢 456,797円 めす 542,290円)
 最高価格 去勢 745,500円 (東別地区 上野正恵さん販売)
 めす 611,100円 (田原地区 和田司さん販売)

12月市場 (12月5日開催)

販売頭数 78頭 (去勢 55頭 めす 23頭)
 販売金額 44,612,400円 (去勢 32,660,250円 めす 11,952,150円)
 平均価格 571,954円 (去勢 593,823円 めす 519,659円)
 最高価格 去勢 817,950円 (東別地区 上野正恵さん販売)
 めす 627,900円 (田原地区 和田司さん販売)